

第②類医薬品



頭痛に
ノーワカE

薬

効能又は効果
 (1)頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・月経痛(生理痛)・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
 (2)悪寒・発熱時の解熱

第②類医薬品 ノーワカE

用法及び用量

次の量を、なるべく空腹時をさけて服用してください。
服用間隔は6時間以上おいてください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	1包	2回を限度とする
11歳以上15歳未満	1/2包	
7歳以上11歳未満	1/4包	
3歳以上7歳未満	1/8包	
3歳未満		服用しないこと

(用法及び用量に関する注意)

- 定められた用法及び用量を厳守すること。
- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

成分及び分量 1日量(2包)中

アセトアミノフェン	600mg
無水カフェイン	240mg
プロモバレリル尿素	200mg

添加物として、ハイドロキシベンゾン、グリセロリン酸Ca、無水ケイ酸を含有します。

注意

- 次の人は服用しないこと
 - 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと。
- 服用が進まない場合があるので、服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。
- 服用に際しては、説明書をよく読むこと
- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること

製造販売元 **薬王製薬株式会社** 奈良県磯城郡田原本町245

この商品のお問い合わせは 電話 0744-33-8855

副作用被害救済制度 電話 0120-149-931

¥200(税別) 2包入 (1包800mg×2)

配置期限



2013年1月作成 記載要領変更に伴う改訂 使用上の注意改訂

この説明書は、お薬とともに保管し、ご使用の際は、よくお読みください。

第②類医薬品

ノーワカE △使用上の注意

☒してはいけないこと (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

- 次の人は服用しないこと
 - 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、薬物酔い薬。
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと(眠気等があらわれることがある)。
- 服用前後は飲酒しないこと。
- 長期連用しないこと。

■相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 授乳中の人。
 - 高齢者。
 - 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	精 神	神経衰弱、めまい
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振	そ の 他	過度の体温低下

裏面もお読みください

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすけ、くしゃみ、のどのゆめ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 /アーストンランドルフ症候群、 中毒性表皮壊死剥離症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る。全身がむくみ、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと喘ぎ、息苦しい等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(膝や肘が痛む)、下痢等があらわれる。

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。眠気
- 5~6回服用しても症状がよならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- 小児の手の届かない所に保管すること。
- 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- 1包を分割した残りは袋の切り口を折り返して保管し2日以内に服用すること。
- 配置期限を過ぎた製品は服用しないこと。

頭痛・歯痛

ノーワカE

第②類医薬品

じゅんじゅん



しんげんしん

効能又は効果

- (1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛。
- (2) 悪寒・発熱時の解熱

第②類医薬品 ノーワカE

用法及び用量

次の量を、なるべく空腹時をさけて服用してください。
服用間隔は6時間以上おいてください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	1包	2回を限度とする
11歳以上15歳未満	1/2包	
7歳以上11歳未満	1/3包	
3歳以上7歳未満	1/6包	
3歳未満	服用しないこと	

(用法及び用量に関連する注意)

- (1) 定められた用法及び用量を厳守すること。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

成分及び分量 1日量(2包)中

アセトアミノフェン 600 mg
無水カフェイン 240 mg
プロモバレルリル尿素 200 mg
添加物として、パルシドンアンブ、グリセリン酸Ca、無水ケイ酸を含有します。

注意

1. 次の人は服用しないこと
- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
2. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと
3. 服用が適さない場合があるので、服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
4. 服用に際しては、説明文書をよく読むこと
5. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること

製造販売元 **薬王製薬株式会社** 奈良県磯城郡田原本町245

この商品のお問い合わせは 電話 0744-33-8855

副作用被害救済制度 電話 0120-149-931

¥200(税別) 2包入 (1包800mg×2)

配置期限



2013年1月作成 記載事項変更に伴う改訂 使用上の注意改訂
この説明書は、お薬とともに保管し、ご使用の際には、よくお読みください。

第②類医薬品

ノーワカE △使用上の注意

☒ **してはいけないこと** (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬。
- (4) 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと。(眠気等があらわれることがある。)
- (5) 長期連用しないこと

■ **相談すること**

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 高齢者。
- (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤・かゆみ	精神神経系	めまい
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不調	そ 他	過度の体温低下

裏面もお読みください

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、しびれ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステーブスジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死融解症 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、どの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
ぜんそく	息をすくときゼーゼー、ヒューヒューと喘る、息苦しい等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする、息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(時々が痛む)、下痢等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること 眠気
4. 5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因などが品質が変わる。)
- (4) 1包を分割した残りは袋の切り口を折り返して保管し2日以内に服用すること。
- (5) 配置期限を過ぎた製品は服用しないこと。